

私たちの活動や意見を仲間で共有します。  
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2018年11月15日 第321号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//heiwatutira.web.fc2.com/



## 平和の旅秋の甲州路(山梨県)

### 26人が参加、山梨の歴史に学び、紅葉の自然を満喫

今年の「平和の旅」は晩秋の甲州路を訪ねる旅、11月13～14日、憲法9条土浦の会、土浦平和の会などから26人が参加しました。

好天ながら上空が曇りがちのため、八ヶ岳、南アルプス、富士山の眺望には恵まれませんでした。山梨の紅葉風景と歴史遺産、文化にはたっぷりと浸ることができ、学びと自然を満喫した大好評の旅となりました。

朝7時の出発、圏央道から中央自動車道を経て一路山梨へ。

最初の訪問地は甲府市にある山梨平和ミュージアム・石橋湛山たんざん記念館。ここは、県内で戦争研究、平和活動を実践するグループが準備会を立ち上げ、開設から運営まで全て市民からのカンパやボランティアで賄っている施設で、二階建ての小さなミュージアムですが、開館から11年、戦時のあらゆる記録、遺品が所せましと展示され見事な平和学習の拠点となっています。二階に設営された石橋湛山記念館では、山梨が生んだ偉大な言論



平和ミュージアムで設立者の一人浅川保理事長のレクチャーを受ける。



旧高野家住宅前にて全員集合のショットではありません。悪しからず。

人であり、戦後政治家として第55代内閣総理大臣に就任した湛山（病のため2か月で退陣）の平和・民権・自由主義の論陣の記録に圧倒されました。ここでは館長の浅川保氏と元高教組委員長・現山梨革新懇事務局長の戸田康氏からたっぷりとしつこくレクチャーをいただきました。

郷土料理ほうとうでおなかを満ちし、次の訪問地は名画ミレーの「落ち穂ひろい、夏」「種をまく人」などの収蔵で一躍脚光を浴び開館40周年を迎えた山梨県立美術館。1万8千坪の敷地に3千6百坪余りの延床面積を擁し、ミレー館の他に多くの展示室を持っています。ここでもガイドの説明を受けながらしばし名画の世界に浸りました。

一日目最後の訪問地は、北杜市の浅川伯教のりたけ・巧たくみ兄弟資料館。北杜市高根町に生まれ八ヶ岳南麓の自然風土に学び、日本の植民地統治下の朝鮮半島に渡り、朝鮮工芸の美に惹かれた兄弟のひとと業績を紹介する施設です。朝鮮の美術工芸品に魅了され、教職に就き陶磁器産地の調査に専念した兄・伯教と朝鮮山野の緑化に取り組み朝鮮総督府に勤務し、朝鮮の人びとを愛し愛された弟・巧の功績は北杜市と韓国抱川市との友好親善につながっています。ここでは市職員の案内で資料の歴史的価値を学びました。

ミレーの「種をまく人、夏」



(裏面に続く)

#### 主な旅程(見学・鑑賞地)

1日目(11月13日)

- ☆山梨平和ミュージアム・石橋湛山記念館(甲府市)
- ☆山梨県立美術館(甲府市)
- ☆浅川伯教・巧兄弟資料館(北杜市)
- 宿泊：ロイヤルホテル 八ヶ岳(北杜市)

2日目(11月14日)

- ☆県立まきば公園(八ヶ岳牧場)(北杜市)
- ☆旧高野家住宅(甘草屋敷)(甲州市)
- ☆勝沼ブドウの丘(甲州市)

☆恵林寺(甲州市)

(「平和の旅」続き)

宿泊はロイヤルホテル八ヶ岳。1,000mの高地に建つ大きなホテルです。たっぷり空腹を満たし、満を持して甲州ワインに飛びつく人あり、日本酒党あり……。部屋に戻っての二次会も大いに盛り上がりました。

2日目最初の県立まきば公園は八ヶ岳南麓の清里高原の絶景地。残念ながら山頂までの山並みは雲に隠されましたが、広がる紅葉の景色が見事。標高1,400mを越える高地だけあり11月下旬の雪国の冷気に目を覚まされました。

甲府市の旧高野家住宅(甘草<sup>かんぞう</sup>屋敷)は八代将軍吉宗の時代、薬用植物甘草を幕府に納めた高野家の屋敷で甲州を代表する古民家。

勝沼ブドウの丘でバーベキュー昼食の後、最

後の訪問地恵林寺<sup>えりんじ</sup>を訪れました。甲斐武田氏の菩提寺で、創建は1330年。1582年織田信長勢の焼き討ちにあったとき「心頭滅却すれば火もまた涼し」と住僧快川が発して焼死したとされています。現在の伽藍は1913年再建。国の名勝指定を受けている庭園と歴史的建造物群に心洗われる散策を楽しみました。

ほぼ予定通りの旅程で14日午後6時過ぎには帰着。早くも来年の期待も口々に、解散となりました。

全日程を通じて、山梨県人である九条の会の森泉さんの綿密な準備と山梨にお住まいの高校時代の同級生の皆さん(県革新懇運動などの中心的存在)の助力で、有意義でゆったりと充実した二日間を堪能しました。(文責 大滝)

たんざん

## 湛山はどう評価されているか

山梨平和ミュージアム展示セットNo.4より抜粋

湛山に詳しい3人の評価

◇松尾尊兌(京都大学名誉教授)

大正デモクラシーの頂点、日本国憲法の精神の先駆者

◇嶋 武彦(東京大学元教授)

20世紀日本の言論界・思想界を代表する希有の人物

◇増田 弘(東洋英和女学院大学教授)

確固たる見識と遠大な構想と図抜けた勇氣とを備えた、我が国で稀に見るリベラルなジャーナリスト、経世家、思想家



新聞意見広告賛同のお願い

## 朝日新聞朝刊に全1ページ広告

12月8日付、朝日新聞朝刊に掲載

テーマは「憲法9条改悪は許さない」

賛同者は 個人 1人 1□1,000円

団体 1□3,000円

「申込書」は理事ルート、ニュース配布ルート等で配布中です。または、理事宛お声かけください。

## 全国「平和新聞」茨城の活動大々紹介

「平和新聞」11月5日号は茨城全県一斉宣伝行動(10/15)を大きく報じました。茨城県内主要駅頭20カ所、146人が参加した「東海第2原発20年延長反対・憲法改悪反対・沖縄の辺野古新基地建設反対」をかかげた宣伝行動の様子を詳細に紹介し、その中で土浦平和の会の土浦駅前行動も写真付きで紹介しています。(ニュース20号で報道済)

### 足元から世論広げる



## 香り豊かな平和(勝沼)ワインを

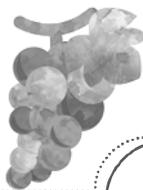
恒例の 甲州勝沼ワイン(2018)です

☆ベリーAヴィンテージ(赤ワイン)

☆甲州ヴィンテージ(白ワイン)

ともに1,600円

申し込みは  
お近くの平和の会理事へ



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)月額400円

